

令和3年度西予市市政懇談会会議要録

開催日時 令和3年12月16日（木） 19:00～20:56
開催場所 魚成公民館
出席者 参加者 51人 市側 10人 市長 管家一夫、副市長 宗正弘、教育長 松川伸二 総務部長 山住哲司、政策企画部長 下澤広幸 生活福祉部長（兼）福祉事務所長 藤井兼人、産業部長 酒井信也 建設部長 三瀬計浩、教育部長 宇都宮裕、城川支所長 藤川 忠男 事務局他 13人
議事内容（要旨） 1 開会 2 市長あいさつ 3 地域づくり活動センターに関する説明 (1) ①地域づくり活動センター推進計画（案）について（まちづくり推進課長説明） ②公民館分館について（生涯学習課長説明） (2) 組織体制（案）について（総務課長説明） 4 質疑応答 （意見等） 地域づくり活動センターについて、センター長、係長級の行政職員、会計年度任用職員、地域任用職員の体制であるが、この人数で果たして行政サービスの低下につながらないような活動が行えるのか。 （回答 総務部長） 人口減少が進む中、健全な財政運用を維持するために職員数の削減は避けて通れない。組織の規模をスリム化するが、現状の業務を効率化するため今と変わらないサービスが提供できると考えている。 （意見等） 城川町のイベントについて、現在教育課が取りまとめをしているが、センター化後、はどうなるのか。 これまで教育委員会が担ってきた学校運営協議会などはどこが行うのか。 現在、市内には社会教育主事がいる。社会教育のレベルが地域によって差がつくことを危惧している。このあたりの歯止めはどうするか。 （回答 城川支所長） イベントについては、城川支所全体で取り組んで行きたいと考えている。 （回答 教育部長）

学校運営審議会については、教育委員会で引き続き進めていきたいと考えている。

社会教育については、教育委員会で計画立案し、実施はセンターというように両方が一緒になって行う形となる。社会教育主事は、新設される部署に置き、併任辞令を出す形で対応したいと考えている。

(意見等)

魚成公民館は子どもたちの遊び場になっている。日直・夜直を一律廃止でなく、休日だけは残す等の段階的な移行はできないか。

(回答 教育部長)

宇和町地域、三瓶町地域、そして明浜町の俵津以外は既に廃止となっている。子どもたちの利用もあると思うが、職員の勤務時間をずらすなどの工夫により対応できるのではないかと考えている。地域でいろいろ検討いただきたい。

(意見等)

魚成公民館は本当に子どもがよく使う。子どもたちからもここを使いたいという声を聞く。他の所とあわせて、日直を廃止というのはちょっと違うのではないか。

(回答 教育部長)

他の所と全く同じようにとは考えていない。職員がローテーションを組んだり、一日のうちの一部の時間だけ開けたりする方法や、基礎型交付金を活用して人を雇用する方法など、地域でご検討いただきたい。

(意見等)

センターが活発化したら、職員は忙しくなる。地域任用職員はノウハウがない。センター職員が地域任用職員をサポートできる体制づくりをお願いしたい。

地域担当職員の存在も大きい。センター化後も継続をお願いしたい。

(回答 政策企画部長)

地域任用職員の主な業務は、地域づくり組織の事務局・会計、地域課題の抽出・企画・運営支援、地域住民との連絡調整、諸団体の運営支援など。センター職員は行政サービスの提供、地域づくり組織と連携・協働し地域づくり活動の支援を想定している。センター職員は必要に応じて地域任用職員を支援していく関係を想定している。これから法令に盛り込んでいきたい。

地域担当職員についても、維持継続するように考えている。

(意見等)

地域任用職員の確保が困難であるが、市としてどのような支援をしていただくことが可能か。

地域任用職員の雇用について、ガイドラインを早急に示してもらいたい。

地域任用職員の管理監督責任はどうなるのか。

(回答 政策企画部長)

人材確保については、どうしても地域で難しいという場合は、公民館主事もしくは、地域づくり活動センター推進室へ相談いただきたい。

ガイドラインのような手引きを作成中なので、引き続き進めていきたい。

(回答 総務部長)

地域任用職員は、直接的な雇用関係というのは地域にあり、センターが雇用主になるわけではない。出退勤などをセンターに委任することは可能。それ以外の業務の責任等は、あらかじめ決めた上で任用するのがよい。

(意見等)

地域任用職員には地域のことなどを勉強していかなければならないが、研修などを市は考えているのか。

(回答 政策企画部長)

研修については、2つの観点で考えている。1点目は、他の地域の事例紹介、2点目は今もやっている地域人材セミナー。セミナーについては、来年度もできないか検討をしている。この2つの取組みで地域任用職員の候補となるような方を支援したいと考えている。

(意見等)

行政があまり、地域のことに関与しないということになると、センターの中で地域任用職員だけが孤立することを心配している。地域任用職員がいきなり業務をやっていくことは難しい。導きが必要だと考えている。

(回答 総務部長)

センター職員の主な業務の1つとして、「地域づくり組織と連携・協働し、地域づくり活動の支援を行う」としている。活動の中心は、地域任用職員になるが、同じ職場でお互いに連携しながら業務をすることで良い関係性ができてくると思う。

センター内の役割分担はセンターごとによって変わってくるのではないと思う。運用していく中で、地域の方とも相談しながら良い方向を見つけていただきたい。

(意見等)

地域任用職員の収入はパートくらいの金額。そこからの増額などは検討してもらえるのか。

(回答 政策企画部長)

現時点で、基礎型交付金に追加する300万円以上の交付は想定していない。この300万円には各種保険費なども含む。安いというのであれば、増額分をどう工面するかを地域で協議していただきたい。

(意見等)

「地域づくり活動センター」という名称が長い。もっと簡単な言葉でないと頭に残らない。そこに意見はでなかったのか。

(回答 政策企画部長)

かなり早い段階から「地域づくり活動センター」という名称をもとに、こ

の計画を進めてきていると承知している。今のところ他の地域ではそのような指摘はいただいている。

(意見等)

災害が起きた場合、センターは避難所になるが、その際の体制はどうなるのか。地域任用職員はどうするのか。

(回答 総務部長)

避難所の開設についてはセンター職員だが、近くに住んでいない場合もあるため、場合によっては地域任用職員や近くに住んでいる方にやっていただくこともある。大規模災害時は、すぐに職員が到着できるわけではないため、自主防災組織の協力をいただきたい。避難所運営については最大限の配慮をしたいと考えているが、地域の協力なしには不可能。ご協力をお願いしたい。

(意見等)

地域づくり活動センターに移行するにあたり、事務所がせまいため、移転改修が必要ではないか。

公民館の空調が故障しているので修繕をお願いしたい。

駐車場の白線がわかりにくいので整備をお願いしたい。

(回答 教育部長)

事務所については、新年度予算で検討をしている。最低限の中で、効果的になるように検討している。

空調、白線と改修が必要なところは、市も理解をしている。総合的に調整して対応をしていきたい。

(回答 教育長)

事務所の改修については具体的に行うような段取りになりつつある。空調と駐車場は改めて現地を見させていただき、前向きに検討させていただきたい。

(意見等)

以前は、原材料支給に関する事業があった。現在交付金の中に入っているので、別途市で予算化してもらいたい。

任用職員については、複数年勤務しても昇給がないという状況。昇給なども考えてもらいたい。

手上げ型交付金については、団体によって交付額に差がある。センター化に合わせて、手上げ型交付金を休止し、その財源を基礎型交付金に回して地域任用職員に使えないか検討していただきたい。

(回答 建設部長)

原材料支給については、地域発西予地域づくり事業の交付金に盛り込んでいるので活用してもらいたい。道路状況などにもよるが、他の補助が活用できるものもある。個別に建設課・支所産業建設課に相談いただきたい。

(回答 政策企画部長)

地域づくり交付金は3年ごとに見直しているため、次の見直しは来年度に

なる。見直し検討委員会があるので、そこでの検討の議題とさせていただきたい。

(意見等)

公民館の介護用のトイレの便座がすごく低いので、改善していただきたい。

(回答 教育長)

公民館主事と連携をとって、現場を見てその中で判断させていただければと思う。

(意見等)

城川地区には、各地区に分館主事という人がいる。センター化したあとも分館主事の仕事があるのか。そのような体制にするのか。

財産区の活動も公民館を拠点にしている。書類なども膨大に置いているが。センター化したあとも引き続き財産区で利用できるか。

災害で林道が数多く傷んでいる。魚成地区には市公林や県公林もある。林道のコンクリート舗装について分担金をお願いすることはできないか。

(回答 教育長)

公民館が地域づくり活動センターに移行しても、魚成地区の拠点ということには何ら変わりはない。社会教育と地域づくりの線引きは難しいところではある。分館主事を残すのかということも含めて地域で話し合っ決めていただきたい。

財産区でも、引き続き活用いただいて差支えない。

(回答 産業部長)

林道について、コンクリート舗装については、できる林道とできない林道がある。できることできないことについて棲み分けをさせてもらいたい。明日会議があるので、その会議で具体的に教えていただきたいと思う。

5 閉会のあいさつ

副市長

6 閉会